

平成 28 年 3 月

日本腎臓学会・会員の皆様

「日本腎臓学会サポーター制度」への参画呼びかけと実態報告 —志ある会員の更なる活力の結集への期待—

日本腎臓学会は腎臓病対策に大きな役割を担う会員の皆様が、学会のさまざまな活動に対して、積極的に意思表示を行って、意欲的に活動に参画・交流もできる仕組みとして、2014年4月に「日本腎臓学会サポーター制度」を設立しました。その後、2年を経て、この制度は充実しつつありますが、まだ十分に会員の皆様に浸透していない面もあり、現状と更なる参画への呼びかけを行うこととしました。

I. サポーター制度の成り立ちと登録について

1. サポーター制度の仕組み(図1)

学会ではさまざまな委員会の取り組みに対して、現在活動されている各委員に加えて、さらに日本全国からの学会員の活動や支援を必要としています。「日本腎臓学会サポーター」として「日本腎臓学会サポーターリスト」に登録すると、さまざまな学会の企画する活動への支援要請の呼びかけが参ります。そのなかで自ら興味を持った内容の活動への参加に応募することができます。

2. サポーターになる資格とは

「日本腎臓学会サポーターリスト」への登録は学会員であれば、どなたでも可能です。年齢や会員期間による制限も

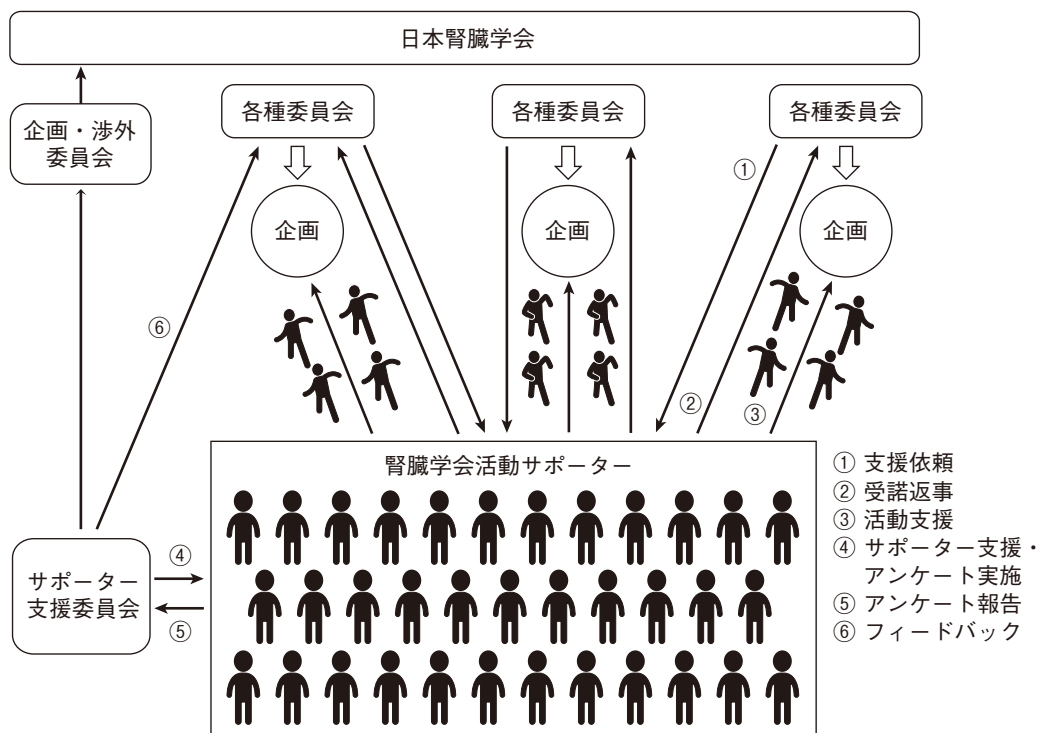


図 1 日本腎臓学会活動サポーターリスト制度 概略図

ありません。

3. サポーター登録するには

サポーター登録には2つの方法があります。

①直接サポーター登録をする。(学会のサポーター制度のHPから会員番号を用いて入ることができます)

<http://www.jsn.or.jp/supporter/>

②学会各委員会からのサポーター支援依頼企画に応募する⇒自動的にサポーター登録されます。

4. サポーターになるメリット

①さまざまな委員会の活動内容とその組織をより深く知り、腎臓学の学問的、社会的広がりを実感、実践できる。

②サポーター同志、委員会メンバーとの垣根を越えた交流が可能。

③サポーターとしての活動は、評議員や他の学会役員ノミネートの際には記載可能で、学会活動歴として認証される。

そのほかにも、学会員としての自覚を呼び覚まされるなどのさまざまな感想が活動したサポーターから寄せられています。

II. サポーター制度の現状

1. サポーター登録者の方々

2016年2月現在で、134名の登録者がおられます。この方々の地域とお名前は許可をえて学会会員HPに記載されています。

昨年10月時点の総計127名の登録者の分析を以下に示します。

①学会歴

図2に示すように、学会歴の非常に長い方から新入会員まで幅広い登録者を得ていますが、特に学会入会5年から15年の若い方々の登録が多く、腎臓学においても力をつけて、これからの活動が期待されます。

②勤務先

図3に示すように、大学在籍者が60%程度を占めますが、病院勤務の方々も多く、多忙な日常業務の間に学会活動に参加する意欲がうかがえます。

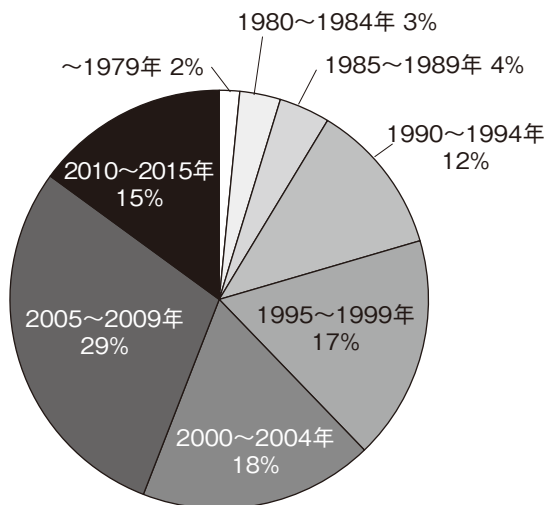


図2 学会入会年度による登録者の割合

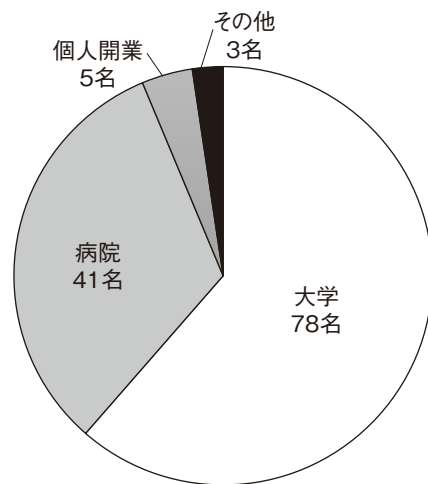


図3 勤務先

表 1 サポーター登録者の学会区域・地方・都道府県別分布

< 東部学会区域 >

北海道・東北地方		関東地方		中部地方			
北海道	9	栃木	2	新潟	6		
青森		群馬	2	山梨			
秋田		茨城		静岡	4		
岩手	1	千葉	3	長野			
山形		埼玉	1				
宮城	4	東京	21				
福島	3	神奈川	3				
小計	17	小計	32	小計	10		
						< 合計 >	
						東部学会区域	59
						西部学会区域	67
						国外	1
						合計	127

< 西部学会区域 >

中部地方		関西地方		中国地方		四国地方		九州・沖縄地方	
愛知	5	滋賀	1	岡山	2	香川	2	福岡	11
岐阜	1	京都	10	広島	1	徳島		大分	
富山	1	奈良		鳥取		高知		佐賀	
石川	1	三重	1	島根	4	愛媛	1	長崎	
福井		和歌山		山口	2			宮崎	2
		大阪	13					熊本	5
		兵庫	3					鹿児島	
								沖縄	1
小計	8	小計	28	小計	9	小計	3	小計	19

注 1. 日本の八地方区分に準じて地方を分けした。なお中部地方に関しては下記2に準じてさらに分けしている。

注 2. 日本腎臓学会定款細則施行規定における学術大会規定第 4 項「東部は静岡・山梨・長野・新潟以東の都道府県、西部は愛知・岐阜・富山以西の府県とする」に準じて分類した。

③地域別分布

表 1 は、登録者の学会区分、地域、都道府県別分布を示していますが、西部が東部より優位な傾向です。地域は全国から参加をいただいておりますが、まだ登録者のいない府県もあり、その地域からの参加を地域のキーパーソンの先生方から呼びかけるなどでぜひお願いしたいところです。

2. 各委員会からの呼びかけ企画

現在までの企画一覧を示します（表 2）。World Kidney Day のイベントなど、短期のものから、男女共同参画委員会の「腎臓学会への誘い」作成支援や編集委員会の査読者募集など、継続的企画への参画要請まで、さまざまな呼びかけがあります。サポーターの方々からの委員会企画要望も受け止めていくことを考えています。

多くの皆様の登録を得て、サポーター制度の更なる充実と、学会委員会のこれらの活力の十分な活用がなされ、学会活動が盛り上がり、わが国の腎臓病への対策が大いに進行することを心より期待しています。

日本腎臓学会 理事長 松尾清一
サポーター制度支援委員会委員長
武曾恵理
委員一同

表 2 サポーター参加企画(2016年2月1日時点)(敬称略)

企画番号	委員会企画名	腎臓学会委員会 学会が支援する会議など	企画担当者	企画側連絡者	サポーター支援 委員会担当者	掲示日	締め切り日
SP-1	男女共同参画委員会活動支援	男女共同参画委員会	内田啓子	内田啓子	安田 隆	2014年2月 25日	半年間
SP-2	腎臓学への招待協力	男女共同参画委員会	内田啓子	内田啓子	安田 隆	2014年3月 7日	2014年度中
SP-3	CEN・日本腎臓学会誌査読協 力者	編集委員会	成田一衛	守山敏樹	守山敏樹	2014年3月 26日	半年間
SP-4	CEN・日本腎臓学会誌；統計協 力	編集委員会	成田一衛	守山敏樹	守山敏樹	2014年3月 26日	半年間
SP-5	お役立ち検討委員会	企画・渉外委員会	武曾恵理	後藤 眞	後藤 眞	2014年3月 26日	半年間
SP-6	腎臓学会海外向け HP	広報委員会		竹本文美	猪阪善隆	2014年4月 16日	なし
SP-7	臨床研修医のための腎臓セミ ナータスクホース	卒前卒後教育委員会	成田一衛	安田 隆	安田 隆	2014年6月 18日	2014/7/7
SP-8	グローバル連携強化委員会 ブース	国際委員会	南学正臣	西山 成	清元秀泰	2014年7月 3日	2014/9/30
SP-9	ASN, ERA/EDTA, WCN のプ ースにおける、日本腎臓学会の 啓蒙活動	国際委員会	南学正臣	西山 成	清元秀泰	2014年9月 3日	2014/11/10 (ASN) 2015/3/10 (WCN) 2015/5/10 (ERA/EDTA)
SP-10	薬剤性腎障害の診療ガイドラ イン作成におけるメンバー募 集	厚生労働省研究班「慢性腎臓病の 進行を促進する薬剤等による腎障 害の早期診断法と治療法の開発」 (班長 新潟大学成田一衛)	ガイドライン作成担 当：筑波大学 山縣邦 弘	白井文一	後藤 眞	2014年10月 8日	2014/11/30
SP-11	日本慢性腎臓病対策協議会 (J-CKD)ホームページ作成	日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKD)	事務局次長 安田宜成	事務局 土田勝久	上園繁弘	2014年11月 6日	制限日なし
SP-12	世界腎臓デー(WKD)に合わせ たCKD啓発イベント	日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKD)	事務局長 横山 仁	事務局 土田勝久	滝沢英毅	2014年11月 6日	2015/1/31
SP-13	「日本医学会総会2015 関西」公 開展示、他	日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKD)	事務局次長 安田宜成	事務局 土田勝久	田中元子	2014年11月 6日	2015/1/31
SP-14	第20回「臨床研修医のための 腎臓セミナー」 タスクホース募集：臨床研修 医のための腎臓セミナー東京 20150228	卒前卒後教育委員会	要 伸也		安田 隆	2014年11月 21日	2015/1/31
SP-15	JSN booth in 52nd ERA-EDTA congress, London 2015	グローバル連携強化委員会	柳田素子, 深水圭, 久 米真司	柳田素子	清元秀泰	2015年5月 1日	2015/5/25
SP-16	第21回「臨床研修医のための 腎臓セミナー」(2015/8/1~8/ 2)でのタスクホース	卒前卒後教育委員会	南学正臣	加藤秀樹	安田 隆	2015年5月 12日	2015/7/17
SP-17	第58回日本腎臓学会総会の 「サポーター制度」ブースにお ける、サポーター制度の普及、 啓発活動	サポーター制度支援委員会	武曾恵理	斎藤知栄	斎藤知栄	2015年5月 21日	2015/6/3
SP-18	CKD診療ガイドライン2013 および松尾班ガイドライン 2014の普及率を明らかにする ためのアンケート調査	学術委員会/診療ガイド・ガイド ライン改訂準備委員会	岡田浩一	岡田浩一	武曾恵理	2015年6月 12日	2015/7/31
SP-19	日本腎臓学会西部学術大会、 あるいは東部学術大会での国 際関連ブースにおける、国際 関連活動の啓蒙活動と会員交 流活動	国際交流委員会	南学正臣	西山 成	清元秀泰	2015年10月 2, 3日 2015年10月 23, 24日	会期中
SP-20	第22回臨床研修医のための腎 臓セミナー(熊本)タスク フォース募集	卒前卒後教育委員会	向山政志	栗原孝成	安田隆	2016年2月 20-21日	会期中
SP-21	世界腎臓DAY(WKD)に合わせ た大阪発の慢性腎臓病啓発 キャンペーン	大阪慢性腎臓病対策協議会	守山敏樹ほか	猪阪善隆	武曾恵理	2016年3月 5日	会期中
SP-22	世界腎臓デー(WKD)に合わせ たCKD啓発イベントサポ ーター募集	日本慢性腎臓病対策協議会	横山 仁	土田勝久	滝沢英毅	2016年3月 10日	会期中
SP-23 (SP-3-2)	CEN・日本腎臓学会誌査読協 力者	編集委員会	成田一衛	守山敏樹	守山敏樹	2016年2月 10日	半年間
SP-24 (SP-4-2)	CEN・日本腎臓学会誌；統計協 力	編集委員会	成田一衛	守山敏樹	守山敏樹	2016年2月 10日	半年間
SP-25	愛知腎臓財団世界腎臓デーイ ベント	愛知腎臓財団慢性腎臓病対策協議 会CKD普及啓発専門部会	吉田篤博	安田宜成	丸山彰一(安田 宜成)	2016年3月 12日	会期中
SP-26	APSN/JSN CME course 日本 人ボランティア募集	グローバル連携強化委員会	栗原孝成	栗原孝成	田中元子	2016年2月 25日	2016/3/31

III. サポーター登録、サポーター支援要請、サポーターとしての企画への応募法

1. サポーター登録

サポーターとして「日本腎臓学会サポーターリスト」へ登録をご希望の方は、メール題名を「サポーター登録」として、「氏名」、「所属」、「会員番号」をご記入の上、下記事務局までご連絡ください。

一般社団法人 日本腎臓学会 事務局
 担当 日本 腎太郎
 E-mail : jinjinsasete@nitijinn.co.jp

※これまでに企画に公募されたことのある方はすべて「日本腎臓学会サポーターリスト」に登録されています。
 ※ご不明点は上記事務局までお問い合わせください。

2. サポーター支援を要請するには

各種委員会等の企画へのサポーター支援要請方法

<サポーター支援要請に関して>

- ✧ 日本腎臓学会の関与するあらゆる企画・活動において、サポーター支援は可能です。
- ✧ 「サポーター支援要請フォーム」の内容に不備のない限り、速やかに募集を行います。
- ✧ 企画支援に関する問い合わせには企画連絡者がご回答ください。
- ✧ 応募のあったサポーターを企画連絡者へお知らせします。
- ✧ 企画担当者は応募された方々から必要な人数をご選択ください。
- ✧ 採否については、応募者全員へご連絡のほどお願い致します。
- ✧ 採用後の連絡も各活動の担当者自身でお願い致します。
- ✧ 「サポーター制度支援委員会」から後ほど採用者の問い合わせをさせていただきます。
 また、サポーター利用後にアンケートをお願いしますので、よろしく申し上げます。
- ✧ ご不明な点は、安田 (yasuda@marianna-u.ac.jp) までお問い合わせください。

<腎臓学会関連企画へのサポーター支援要請>

各種企画においてサポーター支援要請を行う場合には、以下の「サポーター支援要請フォーム」をご記入の上、下記事務局にメールへと添付してお送りください。

一般社団法人 日本腎臓学会 事務局
 担当 日本 腎太郎
 E-mail : jinjinsasete@nitijinn.co.jp

※記載方法は新着ニュースにある支援要請をご参照ください。

※フォームにない事項で必要な内容は、「その他」の部分にご記載ください。

HP から「サポーター支援要請フォーム」をダウンロードしていただくか、もしくは、以下をコピーしてご利用ください。

サポーター支援要請フォーム

必須項目（必ずご記入ください）

1. 企画名称：
2. 企画内容：
3. 企画に關与する委員会等の名称（委員会名称、キーパーソンなどを記載）：
4. 企画担当者：
5. 企画連絡者氏名とメールアドレス：
6. 報酬の有無：
7. 募集締め切り日：

任意項目（必要な場合にご記入ください）

1. 企画日時：
2. サポート期間（短期、長期）：
3. 募集期限：
4. 募集人数：
5. 募集サポーターの条件：
6. その他：

3. 企画へのサポーターとしての応募

募集中の企画に参加をご希望の方は、メール題名を「サポーター応募+企画名称を記載」として、「氏名」、「所属」、「会員番号」、「サポーターリスト登録の有無」をご記入の上、下記事務局までご連絡ください。

一般社団法人 日本腎臓学会 事務局

担当 日本 腎太郎

E-mail : jinjinsasete@nitijinn.co.jp

- 企画への参加は、日本腎臓学会会員であればどなたでも応募できます。
- 応募された方は自動的に日本腎臓学会のサポーターとして「日本腎臓学会サポーターリスト」に登録されます。
- 採用の有無は企画連絡者より直接通知致します。
- 企画内容への問い合わせは企画連絡者へメールでお尋ねください。
- 支援終了後、「サポーター制度支援委員会」からのアンケート調査にご回答ください。

4. サポーター支援委員会

- ☆ 「サポーター制度支援委員会」は日本腎臓学会企画・渉外委員会に属しています。
- ☆ 「サポーター制度支援委員会」はサポーター制度が円滑に運用されるための支援を行います。
- ☆ サポーター制度運用に関する、以下の点をモニター致し、制度の改善に努めます。
 - ・ サポーター登録状況
 - ・ 企画・活動の公募状況
 - ・ 活動のサポーターおよび企画者からの意見聴取（アンケート）

<サポーター制度支援委員会委員>

委員長：武曾恵理 副委員長：安田 隆

委員：猪阪善隆，上園繁弘，清元秀泰，小山雄太，後藤 眞，斎藤知栄，
滝沢英毅，田中元子，鶴屋和彦，丸山彰一，守山敏樹

オブザーバー：安田宜成